

かまにし

第65号

発行 地域力推進蒲田西地区委員会
編集 地域情報紙編集委員会

ご存知ですか？

タイヤ公園

——その誕生から今日まで——



造成しました。そのさい、古タイヤが遊び道具として最も人気が高かったそうで、そこに着目した区が、もつと広い場所です。タイヤ主体の公園を考えると、できたのがユニークな西六郷公園だったのです。区の英断ですね、拍手！

タイヤは、区の呼びかけにに応じた建設会社・自動車修理工場・航空会社等から提供され、開園当初は、日本国内はもちろん、アメリカ・オランダ・イギリス・オーストラリアなど海外からも問い合わせが相次ぎました。

それから半世紀近く、おそらくどの家庭にも、幼い日、ここで遊んだ経験のある方がいらっしやるのではないのでしょうか。

公園の面積約五七〇〇㎡。昭和六二（一九八七）年の改修工事を経て今日、公園の入口には四季折々の花が咲く花壇があり、タイヤを埋めて仕切られた大小二つの円形広場には、古タイヤを利用した怪獣やロボットなどのモニ

ュメント、大小様々なタイヤ遊具が用意されています。大きいものは足から頭までの高さが八m、頭から尾まで二〇mもあり（写真）、人気の的になっています。

ところで昨今、このタイヤ公園が、エコロジーに関心のある外国人観光客の注目を集めているそうです。古タイヤが再利用され、公園の主役になっていることに興味をひかれるというのです。（取材 山口委員）

【かまにし17編集委員】

- 石渡 咲子・國廣 恒二（西蒲田一丁目町会）
- 瀬川 二三・森 俊夫（西蒲田二・三丁目自治会）
- 塩田 靖敏・三瓶 秋子（西蒲田四丁目町会）
- 池田 きみ子（西蒲田女塚町会）
- 伊藤 多佳子・永山 英夫（西蒲田六丁目自治会）
- 柳通 勝麿（蒲田西口町会）
- 飯嶋 宏之・下山 恵美子（西蒲田七丁目御園町会）
- 横山 方子（西蒲田八丁目町会）
- 多田 鉄男（御園自治会）
- 山口 博美・多田 宜幹（新蒲田一丁目自治会）
- 山崎 修弘・近藤 邦子（東矢口一丁目町会）

わがまちの顔

「こども食堂」の名付け親、 気まぐれ八百屋「だんだん」

近藤 博子せん



でもいそうな明るいおばちゃんだが、どこにそんな行動力があるのだろうか、と不思議になる。現在は「こども笑顔ミーティング実行委員会」という社会教育団体の代表をしている。

最近「こども食堂」という言葉をよく聞く。現在全国に四〇〇以上もあるという。近藤さんがその名付け親だ。そのため講演会にシンポジウムに雑誌取材にと引っ張りだこの忙しさだ。「こども食堂」をつくるきっかけは二〇一〇年ごろ、たまたま立ち寄った副校長から「給食以外の朝食と夕食にはバナナ一本しか食べられない子がいる」という話を聞き、ショックを受けたことによる。

現在、子どもたちの六人に一人が貧困状態にある、といわれる。一クラスに四、五人いる計算になる。お父さんやお母さんが夜遅くまで働かざるを得ない。だから子どもが一人ぼっちで食事をする家

蒲田西特別出張所管内

人口	男	32,373人
	女	29,853人
	計	62,226人
世帯	35,254世帯	

平成29年8月1日現在

佐藤 悦子（小林自治会）
高橋 晴美（安方北町会）
大良 美臣・岡 和雄（安方南町会）
塩澤 一好・原 哲夫（多摩川二丁目町会）
伴野 正弘・横山 智恵子（道塚自治会）
荒浪 明子・諸田 洗輝（蒲田西特別出張所）

庭が多くなっている。そこで近藤さんは子どもたちの「孤食」をふせぎたい、と考え、二〇一二年に「こども食堂」を立ち上げた。子どもの貧困と関連づけてマスコミにも取り上げられ、名付け親の近藤さんは困惑ぎみだ。「こども食堂」は貧しい子どもたちの救済だけが目的ではない。子どもが一人でも安心して来ることができ、様々な悩みを聞いてくれる居場所であってほしいとの思いがある。最近あまり見かけなくなつた三世代の団らんを、地域全体で作り上げるのが目標だ。今では食堂にはいろいろな世代の人が集まり、多世代交流型の地域サロンとしての機能を果たしている。「だんだん」では日替わりで、実に様々なイベントを行っている。無農薬野菜の販売や「こども食堂」以外にも、「こどもカフェ」「うた声だんだん」「英会話教室」「ドルペイント」「文章教室」「手話教室」「だんだん寄席」「ワンコイン寺子屋」「私も哲学」「平和を望んだ先人に学ぶ読書会」「子どもに絵本の読み聞かせをする会」……など多彩だ。きっと自分に合ったイベントがあるはずだ。ぜひ一度、気軽にのぞいてみることをお勧めしたい。（取材 多田委員）

日体大荏原高校の創立者は 城南信用金庫の創立者！

池上八丁目にある日本体育大学荏原高校の前身は、明治三七（一九〇四）年に加納久宜（かのうひさよし）子爵が設立した荏原中学校です。当時の教育が知識偏重であることを憂え、知育・徳育・体育を調和する教育の必要性を訴える声があがり、日本体育会会長の加納さんは、この理想を実現するために、まず体育教師養成機関として日本体育大学の前身、体操学校を作り、さらに教員養成に必要な実習校として荏原中学校を設立したのでした。この理想は今も荏原高校に生き続いています。



日本体育大学荏原高等学校

池上競馬場で初の馬券
加納さんは鹿兒島知事だった時、軍馬の育成をしていましたので、知事を辞めてからも「馬の育成は国家にとって必要な事業」と考え、明治三九（一九〇六）年に東京競馬会（現、東京馬主協会）の発足に尽力し、日本人による初の馬券付き競馬を、東京大森の池上競馬場で開催します。

池上競馬場は、明治三九年から三年間だけ開設された一周一マイルの競馬場でした。位置は現在の池上六〇八丁目（池上駅の南方一帯）です。



徳持ポニー公園の記念碑（文章は右下）

明治三九（一九〇六）年から明治四一年頃、池上村に競馬場がありました。日清・日露戦争後の当時、政府は軍馬の不足解消と資質改良を目的として、海外から優秀な種馬を輸入すると共に競馬会の設立を奨励しました。

そして明治三九年一月二四日、日本人による洋式システムの最初の競馬がこの池上競馬場から開始されたのです。

しかし競馬熱が異常に高まり弊害を生じる事態になったため、明治四一年政府は馬券の発売を禁止し盛況を誇った池上競馬場もわずか三年で廃絶となりました。



開坂の標柱

開坂（くらやみざか）
八景坂下の山王二丁目一二番と三丁目一番の間を北西に上がる坂道です。昔、坂のそばに八景園があり、反対側に加納邸があった、坂に八景園の樹木がうっそうと覆いかかり、昼間でも暗かったためこの名がついたのだそうです。

八景園とは、明治一七年に開園した遊園地のこと。ちょうど現在の天祖神社の裏手一带にあたり、その広さ約一万坪。数百株の梅が植えられ、東京湾の風光一望のもとといわれていました。明治三三年に作られた鉄道唱歌でも「梅に名をえし大森を 過ぐれば早も川崎の」と、梅の名所として八景園が歌われています。

なお、開坂という坂の名前はピュラーで、東京では主なものが一二坂あげられています。



左側が加納邸跡の集合住宅

自宅で信用組合を開業
加納さんは、明治三三年九月七日、鹿兒島県知事を退任すると東京府入新井村に居住し、学務委員として地域の教育振興に努めました。明治三五年七月には英国の協同組合を見本に大森山王の自邸を事務所とし、妻と二人で手作りで帳簿を揃え、都内最古の入新井信用組合（現、城南信用金庫入新井支店）を設立して、荒廃していた地域を模範村に変えていき村民から慕われたということです。

加納さんの略歴
嘉永元年三月一九日（一八四八年四月二二日）—大正八（一九一九）年二月二六日。幕末の上総国一宮藩主。明治・大正時代の政治家。子爵。

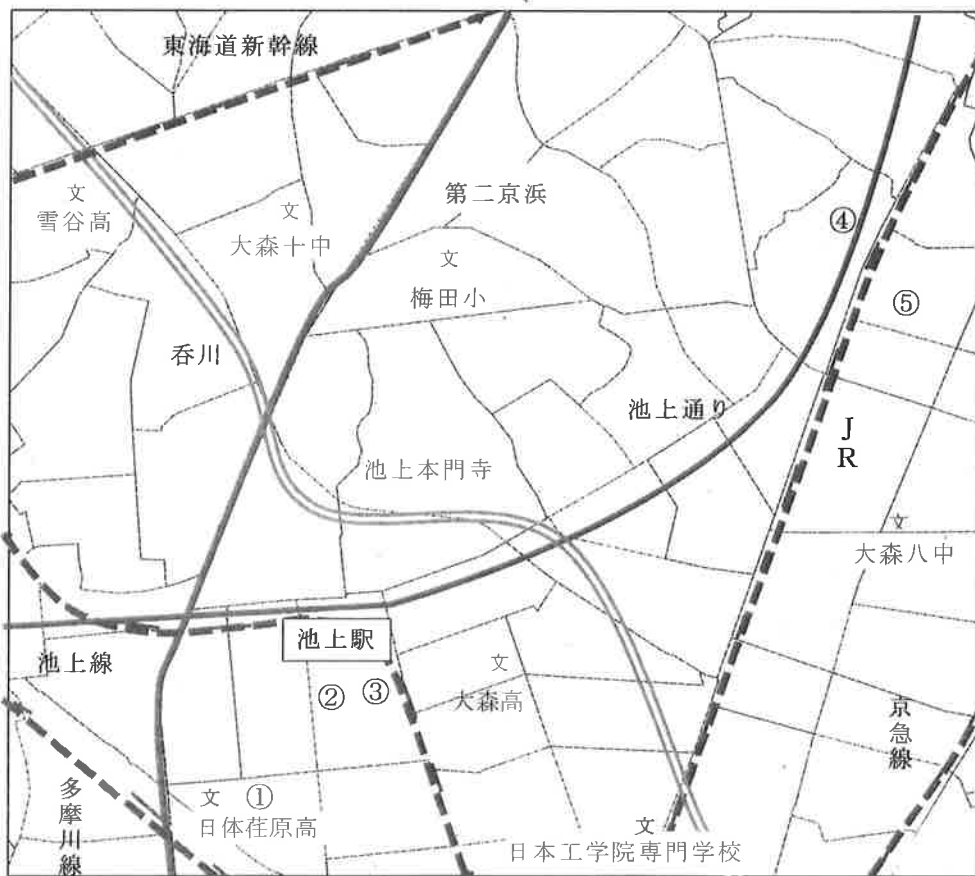
鹿兒島県知事、千葉県一宮町長、貴族院議員、一五銀行取締役、日本体育会会長、日本体育会体操学校（現、日本体育大学）校長、帝国農会初代会長、日本競馬会創設に尽力するなどして、「日本農政の父」と仰がれました。

なお、加納さんは、第九二代内閣総理大臣 麻生太郎氏の曾祖父に当たります。



加納久宜

主な参考資料
『加納久宜子爵 その生涯と功績』（城南信用金庫加納公研究会編）
（取材 大良委員）



- ①日体大荏原高校
- ②池上競馬場の跡
- ③徳持ポニー公園の記念碑
- ④開坂
- ⑤城南信用金庫入新井支店